



るんるん一むだより♪ ほし組

朝晩に涼しい風が吹く日が増え、秋の訪れを感じます。子ども達も公園に遊びに行くとどんぐりや葉っぱ、ダンゴムシといった自然に触れながら楽しんでいます。

お部屋遊びでは何かを見立てる遊びをたのしめる子が増えてきています。見立て遊びをすることで想像力がつき、また友だちと一緒に遊ぶことでコミュニケーション能力の発達も望めます。

今回のルームだよりでは最近行われている友だちと関わりながらの遊びについて紹介します。

お友達と一緒にあそぶの楽しいな♪

ほし組になってからしばらくは、一人で遊びたい気持ちが強かった子ども達。最近では言葉でコミュニケーションがとれるようになってきたと同時に、友達に対する興味が膨み、「一緒に遊びたい気持ち」が芽生えてきています。以前は同じ様な遊びを友だちの側でしていましたが、意識して一緒に遊んでいるわけではありませんでした。

今では友達の側にそっと近付き、遊びを真似して友達を意識した関わり方が増えていきます。そして真似る事からだんだんと、「協力」して遊びを共有することが増えてきました。

積み木を高く積み上げて「おっきいね」と喜びあう姿や「さんかくの おうちできたよ」「〇〇くんこっちね」と言いながら、協力して一つの物を作り上げる光景も見られるようになりました。

ままごとでは皿に盛りつけをすることだけではなく「ごはんですよ～」「たべていいよ～」「かれーだよ」「めにゅー みてみて」と呼びかけて、友だちの料理を作ったりクマの人形に作って食べさせることにも興味が沸いているようです。

パズルをしていても「ここだよ」と教えたり、難しい時には側にいる友達に「どこに いれるの?」「てつだってくれない?」とお願いしている姿も見られています。

同じ遊びにしても、友達と関わり合う事によって遊びが広がる事もあり、遊び方が変わってきた様に感じています。「友達と一緒に遊びたい」と思う感情一つとっても、大きな成長を感じます。関わりが増えた分トラブルもありますが、「ありがとう」「かして」「ごめんね」「いいよ」等、場面や感情にあった言葉を交えながら、友達との関わり方を丁寧に伝えていきたいと思えます。



11月の予定

7日(月)避難訓練
14日(金)身体測定
19日(水)誕生会

